

令和2年第5回 甲賀市議会臨時会

甲賀市議会臨時会が11月9日に開催されました。市議会人事および市が提案し、審議、可決、同意された主な議案は次のとおりです。

任命・選任・選挙(敬称略)

- 正副議長 議長 橋本 恒典
副議長 戎脇 浩
- 厚生文教常任委員会 委員長 山中 修平
副委員長 山中 善治
- 広報特別委員会 委員長 田中 新人
- 監査委員 山本 哲雄
山中 善治
- 公平委員 青木 孝徳

令和2年度補正予算

- 令和2年度甲賀市一般会計補正予算(第6号) ▲4,246万円
主な内容
- 感染拡大防止臨時支援金交付事業 ▲5,010万円
感染症拡大防止臨時支援金について、事業の完了に伴い執行残額を減額
- 地場産品販売促進事業補助 664万円
新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地場産品を支援するため、宿泊事業者が観光誘客を行うための伝統的工芸品(信楽焼)を購入する費用補助
- 青少年育成推進事業 100万円
成人式における参加者の社会的距離の確保など新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じるための経費を追加

問合せ 総務課 総務統計係 ☎69-2120 FAX63-4086

議長就任にあたって



甲賀市議会議長
橋本 恒典

このたびの臨時議会において、甲賀市議会第14代議長という重責を担わせていただくことになりました。市民の皆様のために一生懸命に務めさせていただきまので何卒よろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、市民生活や地域経済に大きな影響を与えており、今後、市財政への影響も懸念されます。市議会でも議会BCP(業務継続計画)を発動し、災害対策会議を設置しています。感染予防対策をはじめ、二元代表制の一翼を担う議決機関として、しっかり役割を果たしていきます。

甲賀市議会として、まずは市民の皆様にとつて身近な議会になるよう取り組んでいきます。そのためには、市議会からの情報発信、市民との対話が重要と考えています。

甲賀市議会では議会改革を積極的に進めており、議員倫理条例制定やタブレット、議員問討議、委員会代表質問を導入いたしました。今後、広報の充実と広報広聴活動につなげていくとともに、委員会中継等さまざまな取り組みにより、市民に開かれた議会にしていくことをお誓い申しあげ、就任のごあいさついたします。

受章おめでとうございます

令和2年秋の叙勲、第35回危険業務従事者叙勲、秋の褒章で市内から次の方が受章されました。



秋の叙勲 旭日単光章



安井 利彦氏
(土山町徳原)

昭和30年4月に安井酒造場へ入社、昭和32年、父の急死を受け20歳で代表に就任されました。

全国的にも希少な「佐瀬式木槽」での搾りにこだわり、麹製造恒温恒湿装置の導入により酒質の安定やモロミ日数の短縮を図るなど、品質の高い日本酒造りに寄与されました。

冬場の農閑期には地場産品の「土山茶」の専業農家の後継者に手伝ってもらい、地元の雇用創出にも貢献されました。

秋の叙勲 瑞宝単光章



植田 和生氏
(信楽町上朝宮)

昭和53年4月から信楽町消防団員として地域住民の生命財産の保全に努められました。平成13年4月に団長に任命され、自ら先頭に立ち団員の指導、教育に尽力されました。

また、平成16年10月に新たに誕生した甲賀市消防団の初代団長に推挙され、甲賀市消防団の発足に多大なる貢献をされました。

秋の褒章 緑綬褒章



井上 喜代子氏
(土山町徳原)

平成3年から健康推進員として地域住民の食生活改善や健康的な生活の実現に向け、尽力されました。県健康推進員団体連絡協議会会長在任中には、県内各地域におけるさまざまな健康づくり活動に取り組みされました。現在も、地域の健康の輪を広げる活動を続けながら後輩会員の育成に寄与されています。

秋の叙勲 旭日小綬章



中嶋 武嗣氏
(水口町嶺峨)

平成11年4月から5年にわたり滋賀県議会議員、平成16年10月から3期12年にわたり甲賀市長を務められました。

近隣5町の合併により誕生した甲賀市の初代市長として、常に市民第一主義を貫き、それぞれ歴史がある旧5町の均衡ある発展を念頭におきながら、豊富な経験と卓越したリーダーシップで、甲賀市の礎を築かれました。

秋の叙勲 瑞宝小綬章



奥村 敬一郎氏
(水口町虫生野)

県下で初の中高一貫校の校長として、課題や改善策、部活動の再編、特色選抜等について検討され、基礎固めに力強いリーダーシップを発揮されました。

また、県総合教育センター所長として、多くの新たな取り組みを計画・実施され、全国的にも先進的な教育センターとなるよう改革に邁進されました。

危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章



瀧口 清氏
(甲南町希望ヶ丘)

昭和43年4月から、42年の長きにわたり京都市消防士として消防業務に精励されました。

数多くの災害現場に出動され、火災による被害の軽減に尽くされたほか、大学や文化財といった管内の防火対象物の防火管理体制強化に尽力されるなど、持ち前の豊富な知識と経験で、京都消防の発展に大きく貢献されました。

秋の褒章 黄綬褒章



神田 泰男氏
(甲南町市原)

手作業による畳製造に長年従事され、神社仏閣の特殊な畳や有職畳(厚畳・押敷・紋縁畳)の製品づくりに優れた技能を有されています。

認定職業訓練校では指導員、校長として後継者を育成指導されるとともに、刑務所における矯正事業でも長年にわたり畳製作の技術指導に尽力されました。

現在は、小中学校で畳づくりを通じて、ものづくりの魅力や楽しさを伝える活動をされています。

岩永市長 初登庁 2期目スタート

岩永裕貴市長が11月2日に初登庁し、市役所の玄関前で職員約80人に迎えられました。

登庁後、職員を前に訓示を行い、「想像力を生かし、発想力、解決力を磨くために、職員の皆さんには外の空気に触れていただかなくてはなりません。市民の皆さんといろいろな話をし、喜怒哀楽をともにしていただくことや、市外に出てさまざまな先進事例を見て、聞いて、感じて、刺激をうけることが、想像力や解決力に結びついていきます。」

新型コロナウイルス感染症対策は大変重要ですが、全国植樹祭を成功に導くことや、東京2020オリンピック・パラリンピック、六古窯サミット、大阪万博などの機会を捉え、甲賀市の魅力を全国に発信していかなければなりません。

オール甲賀で、またオール市役所で力を合わせ、甲賀市をどんどん前に進めていきましょう。」と呼びかけ、岩永市長による2期目の市政がスタートしました。



▲初登庁式であいさつをする岩永市長